

# GSIS 同窓会会報

No.4

## INDEX

平成 26 年度 GSIS 入科式における同窓会関連イベントのご案内.....	2
同窓会総会のご案内.....	3
第 4 回同窓会ポスターセッションの発表募集.....	4
第 10～12 回まなばナイト実施報告.....	5
同窓生キャリアレポート.....	9
イベント情報.....	13
会費納入のお願い.....	14
会員情報.....	15

2014 年 2 月 15 日

## 平成 26 年度 G SIS 入科式における同窓会関連イベントのご案内

今年も G SIS 入科式に合わせて、以下の関連イベントを開催します。1 年に 1 度のお祭りです！同窓生の皆様もふるってご参加ください。

- 1) 日時 4/12(土) 10:30-17:00 (18:00 から懇親会)
- 2) 会場(東京会場)：富士通ラーニングメディア(FLM)品川ラーニングセンター(品川 LC)  
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 12 階
- 3) プログラム(仮)：  
10:00 受付開始  
10:30-12:00 修了生学位記伝達式、eLP 授与式  
12:00-12:45 昼食・情報交換会(食事ケータリング、FLM 品川 LC コミュニティスペース)  
12:45-13:45 修了生・同窓生・教員ポスターセッション  
13:45-15:30 同窓会主催特別企画イベント TIDE  
15:30-17:00 入科式、オリエンテーション・ガイダンス  
同上 同窓会総会(FLM 品川 LC コミュニティスペース)  
18:00-21:00 懇親会 (TULIPANO トゥリパーノ：東京都港区港南 1-8-15 W ビル 2F)

**【注意】出席・欠席を問わず、下記のフォームにて出欠の連絡をお願いします(必須)。**  
回答締切は **2014/3/31 (月) 23:59** です。

【申込フォーム】

<http://www.gsis.jp/20140412entry>

ご不明な点などのお問い合わせは、入科式関連イベント実行委員長・加藤  
(yasuhisa.kato@gmail.com) へお願いします。

なお、当日、お手伝いしてくださる同窓生も引き続き募集しております。短時間でも結構ですので、ぜひ手を挙げてください。詳細は、1 月 15 日の同窓会 ML をご覧いただくか、加藤までご連絡ください。

文責：入科式関連イベント実行委員長  
博士後期課程修了生 加藤泰久

## 同窓会総会のご案内

同窓会総会は、毎年 1 回会長が招集し開催することが、会則に定められています（役員名簿は、本会報の「会員情報」をご覧ください）。そして、会員の皆さんが過半数出席（委任を含む）されないと成立しないものでもあります。

年に 1 回での総会では、主に以下のことが審議・報告されます。

- (1) 役員を選任及び承認に関する事項
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (3) 予算及び決算に関する事項
- (4) 会則の改廃に関する事項
- (5) 会員からの求めによる審議事項
- (6) その他、総会で決議することが相当な事項

この同窓会総会は、会員の皆様のご負担を考え、新会員の誕生と 1 年に 1 回の GSIS 祭りにあわせて、例年開催されています。

2014 年度の総会につきましても、前述のとおり平成 26 年度 GSIS 入科式における同窓会関連イベント（4 月 12 日開催）にて、下記のとおり行います。多くの方のご出席をお願いいたします。2013 年度修了生の皆様もこの時点では同窓生ですので、ご出席ください。

具体的な総会の議事内容（議事内容の募集も含めて）および出席できない方の委任方法などにつきましては、別途ご連絡をさせていただきますので、まずは、ご予約の確保をお願いいたします。

### 記

- 1) 名称：2014 年度 熊本大学大学院教授システム学専攻 同窓会総会
- 2) 日時：2014/4/12 (土) 15:30-17:00
- 3) 会場：FLM 品川 LC コミュニティスペース（品川インターシティ B 棟 12 階）

同日にて実施されている「平成 26 年度 GSIS 入科式における同窓会関連イベント」の 1 つとして実施されます。入科式の同時開催イベントです。

同窓会総会終了後は、入科式を終えたばかりの新入生も交えて、懇親会へと続いていきます。同窓生（修了生を含む）、在学生、新入生、教職員が 1 年に 1 回集う、GSIS 祭り！みんなで盛り上げましょう！（同窓会総会もね^^）

会費の納入がまだの人！同窓会総会までに納入をお願いします（本会報の「会費納入のお願い」をご覧ください）。

文責：同窓会総会担当 第 1 期生 宮原俊之

## 第4回同窓会ポスターセッションの発表募集

2014年4月12日（土）のGSIS入科式/修了式に合わせて、今年も同窓会員によるポスターセッションを行います。本企画の主旨はコンピテンシー10の成果発表の場、そして、コンピテンシー12です。今年は、OB/OGの皆様が **2013年度に取り組まれた教授システム学に関わる研究・実践報告のうち、代表的なものを1つ取り上げ**、ポスター形式で発表をお願いします（新たな発表をしていただく必要はありません）。

### ■発表者の資格

第一著者が教授システム学専攻同窓会員であること。

### ■エントリー締切：2014年3月24日（月）17時まで

・エントリー方法：以下のフォームをコピーして入力の上、メールにてお申し込みください（宛先：[atakahashi@kumadai.jp](mailto:atakahashi@kumadai.jp)）。なお、メールの件名は「第4回 同窓会ポスターセッション発表申込」としてください。

-----  
発表タイトル：

著者（連名可）：

所属：

連絡先メールアドレス：  
-----

なお、ポスターセッションに先立ちまして、2013年度業績目録作成に向けた個人業績のご報告もご協力お願いいたします。報告締切は、**2014年2月末日**です。詳細は1月15日の同窓会MLをご覧ください。高橋までご連絡ください。

文責：業績目録作成担当・第2期生 高橋暁子

## 第 10～12 回まなばナイト実施報告

熊本大学大学院教授システム学専攻の同窓会主催で開催している「まなばナイト」第 10～12 回が開催されましたので報告いたします。実行委員の加地です。

### 第 10 回「OPEN : e ラーニングとオープンソース、そしてオープンエデュケーション」

第 10 回まなばナイトは、MOOCs に象徴される近年の動向を探る IT 系のワークショップとして 2013 年 8 月 31 日に開催しました。

初めの登壇者は、日本で Moodle といえばこのかた。教授システム学専攻の喜多先生です。内容は、Moodle の最新版を使ったスタディセッションで、モバイルブラウザやタブレット PC から、配られた ID でめいめいログインして用意いただいたコースを使い、いくつかの新しい学びを探りました。参加した人やチャットで貢献した人にバッジを付与するなど、MOOCs 界隈で注目される機能を実際に体験しながら学ぶことができました。



2 番めの登壇者は、教授システム学専攻 博士第一号の宮原さん。いち早く iTunes U を活用し大学をオープンにしていこうと取り組まれた経過や学内システムを切り替えていく中でのオープンソースとのつきあい方など、興味深い現場の様子をお伝えいただきました。

iTunes U は、Apple が社会貢献の側面から提供しており、製品の利用促進にもなるよう供給されている。MOOCs のプロバイダになるようなことはないし、それに必要な機能が加わることもない、考えようによってはもったいないプラットフォームだとも感じた次第です。

お二人の発表の後は、喜多先生のチャットセッションに続いて、後半でもグループに分かれての MOOCs についてのディスカッション。ここでも様々な意見が交わされました。以下はグループ毎に発表していただいた一部です。

- ・ひとそれぞれ。求めるものもちがう。企業内でのニーズにもつながるが動機の面と仕組みの面でも。

- ・最新のテキストが MOOC になっていたりするのも魅力。英語は壁。
- ・影響はまだ未知数。学位目的などの動機付け
- ・修了証もまだまだ概念や目的意識が社会的に高まっていないのでは。
- ・オンライン大学の大きな脅威にも思える。
- ・コースが提供されているもので、魅力的。
- ・対価を払って修了証をもらうか？今の状況では払わないだろう。

最後にクロージングとして鈴木専攻長からも、オープン潮流について思うところを述べていただきました。

東大にしか出せないコンテンツ。これは、日本語であろうと英語であろうと勝つ。オープンとは、勝ち負けはっきりしているもの。それがはっきりするビジネス。何万人何十万人来て、一番の人が全部取っていつちゃう。学習者には明るいなし。プロバイダとしては、とても厳しい世界。

重く響きました。

#### 第 11 回「インストラクショナルデザイン最新動向ワークショップ～ 訳書「インストラクショナルデザインとテクノロジー: 教える技術の動向と課題」出版記念 ～」

第 11 回まなばナイトは、熊本大学大学院教授システム学専攻長の鈴木克明先生、合田美子先生を中心に翻訳が進められた新著を題材に、インストラクショナルデザイン (ID) の最新動向をお伝えするワークショップとして 2013 年 10 月 5 日に開催しました。

冒頭、鈴木先生から訳書が世に出るまでの様々なエピソードが語られました。続いて合田先生から、2 章を中心に本書の構成や読み方について、簡単なワークを交えながらレクチャーが行われました。前半セッションのまとめに、今回のワークをどのようにデザインしたか、理論とひもづけて「たねあかし」をしていただきました。これも大変参加者には好評だったようです。

配布された A3 の資料は合田先生のサイトにて公開されています。

第 11 回まなばナイトのワークショップ・合田美子研究室

<http://yygg.jp/2013/10/manabanight10052013.html>

第二部は、翻訳に参加された4人の先生が、それぞれの場所に分かれて担当された章の中からポスター発表。会場を活かしてのカウンターでのポスターも、なかなかよい雰囲気でした。



## 第12回「インストラクショナルデザインを教授する『教授システム学専攻博士前期課程』のインストラクショナルデザイン」

第12回まなばナイトは、2013年12月14日に開催しました。eラーニングの専門家をeラーニングで育成する教授システム学専攻は、どのようにデザインされたのか。また成果はどのように測られているのか。今回は開催母体でもあります、熊本大学大学院教授システム学専攻のデザインについて、専攻の専任教員である根本淳子先生、鈴木克明先生の2人をお迎えしての開催となりました。

今回もワークショップ形式で、IDのこと、教授システム学専攻のことについて、各参加者のみなさんとともに考えていきます。導入ワークとセッション1・2の3部構成で進行了ました。

### <導入ワーク> :

久々の鈴木専攻長によるオープニングと導入ワーク。何を期待しての参加か、こうあるべきと考えることは何かの2点、お題が投げかけられ、個人ワーク、グループディスカッションしてモヤモヤを高めます。

### <セッション1> : 「教授システム学設立の意図とそのデザイン」

教授システム学専攻を構築してきた立場から、全体像を根本先生が提示されました。

設立から時を経て、折々にプログラムの改善を重ね、その経過や成果は関係学会や研究会でも報告されてきましたが、そのデザインの意図を学生に示し伝えることはしていなかったと振り返ります。またそれらは、これからデザインをしていく学生にとっても、重要なリソースの一つであるはずだと考えたと述べられました。

そしてミッション、ビジョン、バリューとデザインポリシーに整理したものが発表されました。

ワーク1：GSISのミッション・ビジョン・バリューの改善

グループにはOBOGも混じり、また修了時期の違いからカリキュラムの相違もあって様々な意見が出たようです。

<セッション2>：学生の立場からみた教授システム学のデザイン

提供側の視点からのワークに続き、修了生2名からの発表がありました。

ワーク2：まなびのデザインポリシーに学習者の視点を追加しよう

二人の発表を受け、グループでデザインポリシーの改定案、ミッション／ビジョン／バリューの見直しなどについて話し合いました。

ICTを活用するのはもちろん、リアルな関わりもゴールに向かうのにとっても重要。カリキュラムのデザインに加え、学習活動がデザインされていることや、それらの方向性がまとまっていることが支えになるだろうと感じた今回のまなばナイトでした。

各回の写真・資料付きの詳細レポートは、まなばナイト Web サイトをご覧ください。

<http://www.manabanight.com>

文責：まなばナイト実行委員 第1期生 加地正典



## 同窓生キャリアレポート

連載コーナーとして、修了生の活動報告を掲載します。第3回目は、GSIS 5期修了生で、この1月から高知大学総合教育センターの教員になられた竹岡篤永さんの登場です。

名前：竹岡 篤永（たけおか あつえ）

入学年度：2010年度修士（前期課程）入学（5期生）

現在の所属：高知大学 総合教育センター

### ● あなたのお仕事内容について教えてください。

まず、GSIS 以前のことをお話します。

大学卒業後はソフトウェア開発の仕事をしていました。会社で働き始めた当時は女性社員に対する教育のシステムがなく、アセンブリ言語や第4世代言語などのプログラミング言語、SQL、ネットワークプロトコルなど仕事に必要な技術のほとんどを独学しました。アセンブリ言語の学習では、自分でわかりやすそうな本を見つけてきて、読みながら言語の動作をノートに書きながら覚えました。ノートに書くのって、小さい頃から好きなんですよね。後で読み直したり、キレイに作り上げたレイアウトにうっとり(?) できますからね。とにかく、いろいろな新しいことを独学で学ぶという職場環境にあったので、実際に自分が学んだり、他人が学ぶのを見たりする中で、理解のプロセスについて考えるようになりました。それで、わかりやすい伝達ってどういうことなのだろう、って思って、仕事を辞めて大学院に行くことにしました。一生涯楽しめる何かを見つけたかったのも理由の一つです。この大学院はGSISではありません。その大学院では、おばあさん同士の日常会話や自動券売機での切符購入の様子など、人と人、人とシステムとのコミュニケーション・インタラクションの機能についての基礎研究をしました。高齢者の対話のパターンが若い人と違うことや、情報を出し過ぎる券売機の行動(?) がよくわかって、おもしろかったです。でも、その分野では仕事を見つけることができず、しかたがないので、博士課程終了後1年間ぐらい、ITのインストラクターなどをしていました。そうそう、個人宅の清掃などというアルバイトもしました。1年ぐらいしてようやく仕事を見つけることができました。ある大学で、インクルーシブデザインのデザインプロセスの研究という仕事を見つけました。インクルーシブデザインって、ユニバーサルデザインみたいなものなんです。デザイナーが勝手にデザインするだけじゃなく、デザインの過程にユーザーと話したり、ユーザーの行動を観察したりするフェーズを入れて、そこから得られた知見をデザインに活かそうというものです。特に何らかの点でフツウの人と違うところを持っている人（車イスを使っていたり、視野の一部が欠けていたりみたいなこと）の話の聞いたり、行動を観察したりすると、その人なりの工夫が見えて来るでしょ。それをデザインのプロが

デザインに取り入れるということです。デザイン過程にユーザーを巻き込むところから“インクルーシブ”っていう名前が付けられています。今こうやって説明してみると、これも立派な学びの過程の研究ですね。しかし、このプロジェクトも終わりを迎え、また仕事を探すことになりました。同じ大学のとある部局で、ちょうど IT 支援の仕事があったので、その仕事に就くことができました（同じ大学だったのですが、全国公募のサイトで見つけたんですよ。助教の仕事ですが、中身は IT 支援の仕事です）。教員や大学生の IT 支援やサーバの管理は別にイヤではなかったのですが、まあ、そんなにたくさんやることもありませんし、この仕事も期限のあるものでしたから、半年ぐらいして、何か新しいことを身につけて転身しないといけないなと考えました。ホントは、竹細工の仕事なんかもいいかなと思っていたのですが（1年間訓練校に通って技術を身につけられることをハローワークのページで見つけて）、そのときに、GSIS もハローワークのページで見つけました。熊大のくすのき会館で e ラーニング連続セミナーがあるという情報を見て、聞きに行くことにしました（当時は福岡在住で近いので行きやすかったですね）。2009 年 7 月 14 日に行われた「e ラーニングと生涯学習」の回です。e ラーニングというのは、個人で学びの機会を作って提供できるんだということを知りました。e ラーニングというのは、なかなかおもしろいものだと思います。その後、GSIS を受験し、無事合格し、修士の学生になりました。

長くなりましたが、以上が、GSIS 以前の仕事の話ですね。ここから GSIS 以後です。GSIS を修了してからも引き続き IT 支援の仕事をしていました。学んだからすぐに転職できるというわけでもありませんからね。ただ、縁があつて（縁としか言いようがないのですが）GSIS の非常勤講師をする機会に恵まれました（今も引き続いています）。ストーリー中心型カリキュラム（SCC）に関する科目の非常勤講師です。この仕事は、本当にとてもよい\*リアル\*インターンの機会だったと思います。GSIS の SCC では M1 の後期、熊本大学の e ラーニング推進機構という組織でインターンとして働くという設定があります。そちらは仮想で、非常勤講師はリアルなインターン、そんな気がしています。もちろん GSIS で学んだことがそこにかかれています。それだけでなく、立場を違えることによって学ぶことが大きいと感じています。教える側がいちばん勉強になるって、よく言うじゃないですか。まさにそんな感じですね。また、チームで仕事をする楽しさ、重要性を感じさせてもらっています。先生、教員って、一人で教えることが多いですよ。でも、よりよい教育を目指すのなら、チームが大切だということを経験させてもらっています。そしてその\*リアル\*インターンの仕事を最大限アピールして、転職を果たすことができました。現在の仕事の面接が 2013 年の 7 月にあつたのですが、そこで GSIS の非常勤講師でのことばかり話したら、本務（IT 支援の方）について言うことはないのですか、と聞かれたぐらいです（限られた面接時間では特に話すことがないというのが、正直なところでしたが）。

こんな感じです。仕事っていうより、仕事を通じての学びについての話になってしまいましたね。

- **GSIS で学んだことは、現在、役に立っていますか？役立っている場合は、何がどのように役立っているのか、具体的に教えてください。**

今の仕事は1ヶ月前に始めたばかりで、まだ何がどうやらよくわかっていないので、具体的にどうとは言えません。機会があれば、レポートしたいと思います。でも、とにかくeラーニングの仕事なので、役立てるしかありません。ただ、「eラーニング＝ビデオ配信」みたいなイメージが強いので、それをなんとか変えたいなと思っています。だって、わたしが学んだeラーニングにはビデオ配信じゃなかったのですし、学んだことを役立てるとしたら、やっぱりそれ（ビデオ配信）じゃないでしょ。自分がやってきて効果を実感したことをベースに、それを仕事に役立てて行きたいじゃないですか。ビデオ配信が一つの手段に過ぎないこと、もっと言えば、eラーニングも一つの手段に過ぎないことから始めたいと思っています。

- **現在興味があること（これから学んでみたいこと、やってみたいこと）を教えてください。特に GSIS の先生方・在校生・修了生と一緒に取り組めそうなことがあればお願いします。**

わかりやすい伝達に興味を持ったことをすでに書きましたが、そのつながりで、展示の表現（文章や位置なども含めて）を見て歩くのも大好きです。博物館や美術館の展示など、どこがどうわかりやすいか、どうすればより伝わるようになるのかなど、見てはあれこれ考えます。また、テレビを見ても、どこに学びがあるのかを考えるようになりました。例えば、タレントが1週間、いろんな職を体験するという番組があったでしょ。お菓子の企画を考えたり、グラウンドホステスになったり。その番組を見て、普通なら5年とか10年とかかかって経験するようなことを1週間という短期間で経験するって、リアリティあふれる架空の設定と言えるんじゃないかなって思いました（つまり、リアルではないということです。だって、現実世界では1週間では体験できないわけなんだから）。GSIS で提供しているストーリー中心型カリキュラム（SCC）みたいだ、と思いました。SCC では5年10年かかって体験するようなことを半年間で体験できるようになっているんです。似てるでしょ。

こんな風に、身近なところに学びがあふれていると思っているので、いつか、このように日常に埋め込まれた学びの機会を統合できるような仕組みが作れたらいいなと思っています。学校や大学という制度以外の学びにもっと光を当てて、それをキャリアにつなげていくことを支援できるような、そんな新しい仕事を作って行けたらいいと思います。ひょっとしたらポートフォリオなんかはその可能性があるかなって思っています。制度での学びも、制度外の学びも、どんどんどんどん蓄積して、学びを振り返って、その学びそのもの

にきちんとした価値を与えて、整理して、公開する。ポートフォリオにはそういう可能性があるんじゃないかなって思います。この考えに賛同していっしょに仕事をしてくれる人を、この場で募集します！（っていうか、こういうアイデアを話し合える場があるといいですね。）

- **GSIS や同窓会に期待すること、要望などがあればお願いします。**

さっき言ったことでしょうか。一人一人が自分の中に持っているアイデアを話し合える場が欲しいです。アイデアの交換が新しい仕事につながって行くと思います。

でも、“ask not what your country can do for you——ask what you can do for your country.” というケネディの大統領就任演説をもじって、GSIS のために自分に何ができるかを問うならば、そして、“先ず隗より始めよ” 故事に倣うならば、始めるべきはわたしですね。期待してください（笑）！

## イベント情報

- 2014/02/22 (土)  
「第 13 回 まなばナイト：なぜ続けられないのか。運動・食事教育プログラムを事例としたモチベーションデザイン@富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター
- 2014/03/01(土)  
日本教育工学会研究会「教師教育と授業研究／一般」@愛知工業大学
- 2014/03/03(月)  
日本教育工学会 FD セミナー@首都大学東京 秋葉原キャンパス
- 2014/03/15(土)  
日本教育メディア学会 2013 年度第 2 回研究会@岩手県立大学
- 2014/03/15(土)  
教育システム情報学会 2013 年度第 6 回研究会「新しい教育を切り開く ICT の利用実践・開発研究／一般」@名古屋学院大学
- 2014/04/12(土)  
教授システム学専攻 学位授与式/入科式/関連イベント
- 2014/05/10 (土)  
教育システム情報学会 2014 年度第 1 回研究会「e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般」@放送大学
- 2014/06/14 (土) 第 14 回まなばナイト
- 2014/07/20 (日)  
教育システム情報学会 2014 年度第 2 回研究会「ICT を活用した教育の質保証とその評価/一般」@千歳科学技術大学
- 2014/08/09 (土) 第 15 回まなばナイト
- 2014/09/10 (水) ～ 2014/09/12 (金)  
教育システム情報学会 第 39 回全国大会@和歌山大学
- 2014/09/19 (金) ～ 2014/09/21 (月)  
日本教育工学会 第 30 回全国大会@岐阜大学
- 2014/10/17 (金) 第 16 回まなばナイト
- 2014/12/13 (土) 第 17 回まなばナイト
- 2015/02/21 (土) 第 18 回まなばナイト

最新のイベント情報は、同窓会メーリングリストまたは ID ポータルをご覧ください。

## 会費納入のお願い

2012年4月7日の同窓会総会第3号議案において可決されたとおり、会費の納入をお願いいたします。

永久会費：2万円

納入期限：2014年3月末日

納入方法：以下の口座へ振り込みをお願いします。

名義：クマモトダイガクダイガクイン

シャカイブンカカガクケンキュウカ

キョウジュシステムガクセンコウドウソウカイ

ミヤハラトシユキ

口座：三菱東京UFJ銀行神保町支店(店番013)

普通) 0048030

※振り込みの際は、文字数制限がありますので、そのギリギリまで入力いただければ大丈夫です。

※会費の納入を持って、同窓会正式入会となります。

## 会員情報

2013年7月8日現在の会員情報です。

### ■会員数 74名

第1期生 (2006年度入学)	9名
第2期生 (2007年度入学)	16名
第3期生 (2008年度入学)	16名
第4期生 (2009年度入学)	14名
第5期生 (2010年度入学)	11名
第6期生 (2011年度入学)	8名

### ■役員一覧 (2013年度)

#### 名誉会長 (1名)

加地正典 (2006年4月入学)

#### 会長 (1名)

早川勝夫 (2008年4月入学)

#### 副会長 (1名～若干名)

市橋貢 (2008年4月入学)

甲斐晶子 (2009年4月入学)

加藤泰久 (2009年4月博士後期課程入学)

#### 会計 (1名)

宮原俊之 (2006年4月入学)

#### 監事 (1名)

石川久吉 (2007年4月入学)

#### 事務局長 (1名)

高橋暁子 (2007年4月入学)

#### 各期代表幹事 (各期1名)

中西孝二 (2006年4月入学)

中嶋康二 (2007年4月入学)

市橋貢 (2008年4月入学)

植田清一 (2009年4月入学)

上田勇人 (2010年4月入学)

清水將統 (2011年4月入学)

#### GSIS 教職員幹事 (若干名)

鈴木克明教授 (専攻長)

喜多敏博教授

北村士朗准教授 (同窓会担当教員)

### ■委員会

・まなばナイト実行委員長

宇野令一郎 (2006年4月入学)

・入科式イベント実行委員長

加藤泰久 (2009年4月博士後期課程入)

## GSIS 同窓会連絡先

GSIS 同窓会事務局 (高橋) :atakahashi@kumadai.jp

メーリングリスト: gsisalumni@googlegroups.com

Moodle: <http://mo.iield.kumamoto-u.ac.jp/gsis1/>

Facebook: <http://facebook.com/gsisAlumni>

twitter: <http://twitter.com/gsisOBOG>